

中東呼吸器症候群 (MERS)

病原体について・・・

中東呼吸器症候群(MERS; マーズ)は、2012年に初めて報告された新種のコロナウイルス(MERS-CoV)による感染症です。

中東を中心に患者の発生が報告されています。

最近では、韓国での輸入感染例、死亡例が報告されています。

症状について・・・

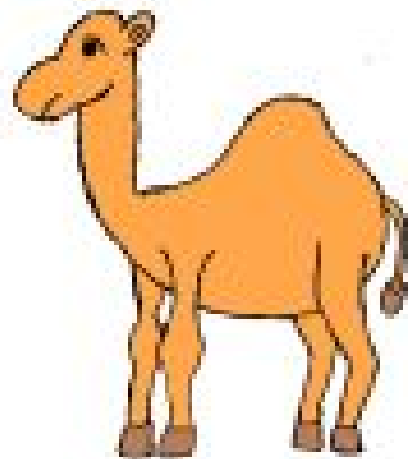
感染してから2～14日後に、呼吸器症状(発熱、せき、息切れや呼吸困難など)を引き起こします。

感染しても症状が出ない場合もあります。

感染経路について・・・

MERS-CoVの感染経路について、正確には分かっていませんが、現在、ヒトコブラクダがMERSウイルスの感染源動物として最も有力視されています。

家族内、医療機関内など、濃厚接触者間での感染も報告されています。



*感染源 ヒトコブラクダ

糖尿病、腎不全、慢性肺疾患、免疫不全などの持病(基礎疾患)がある方は、一般の人よりも感染しやすいと考えられています。

治療について・・・

現在、特別な治療法ワクチンはなく、症状を軽くするための対症療法が行われます。

予防について・・・

- ★予防するためのワクチンはありません。
- ★流行地域に立ち入らないことが重要です。
- ★ラクダに近づく事や、それらの未殺菌乳を飲む事は避けてください。
- ★一般的な衛生対策として、手洗いを行って下さい。
- ★咳やくしゃみなどの症状を示している人との接触はできる限り避け、マスクを着用して下さい。



*発生地域 「アラビア半島諸国(中東)」

*輸入感染地域 「韓国」

★上記の発生地域からの帰国時に、発熱や咳など、風邪に似た症状のある方は、検疫所へご相談ください。

★上記の発生地域からの帰国後 14 日以内に、発熱や咳などの症状がみられた場合は、直接医療機関を受診せず、まず、最寄りの保健所に連絡してください。

厚生労働省検疫所 <http://www.forth.go.jp/>
福岡検疫所

<http://www.forth.go.jp/keneki/fukuoka/>

2015年6月改訂